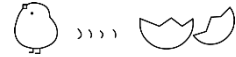


# 2017 1月のほけんだより

認定こども園あゆのさと 看護師 石黒治美



2017. 1. 6

あけましておめでとうございます。たのしい年末年始を過ごされたでしょうか？夜遅くまで起きていたり、朝もゆっくり寝ていたり・・・お正月休みは、大人も子どもも生活リズムが乱れやすいですね。これから本格的な寒さを迎えます。気持ちも新たに、健康管理に気を配っていきましょう。1月5日現在、お休み中の感染症として、水ぼうそう(ひまわり)1名、インフルエンザ(すみれ)1名の報告があります。年末年始の休み中に、感染症(インフルエンザや感染性胃腸炎など)になってしまったお子さんは、治っていても、必ず職員までお知らせください。

## 感染予防の基本は

# 手洗い・うがい

**です！**  
感染性胃腸炎だけでなく、インフルエンザへの感染も心配される季節です。

### 感染症を予防する生活習慣

#### ① 手洗い

外出後、トイレ後、食事前に、石鹸で手のひらや指先、指の間や爪の中をよく洗い、流水で一分ほどすすぎます。手をふくタオルはこまめに換え、感染した人とタオルをわけましょう。



#### ② うがい

薬を使わなくても、水道水でのうがいでじゅうぶん効果があります。



#### ③ 咳エチケット

マスクによる保温保湿効果が感染予防に役立ちます。咳が出るときは必ずマスクを着用して登園しましょう。忘れたときは玄関のマスクをご利用下さい。

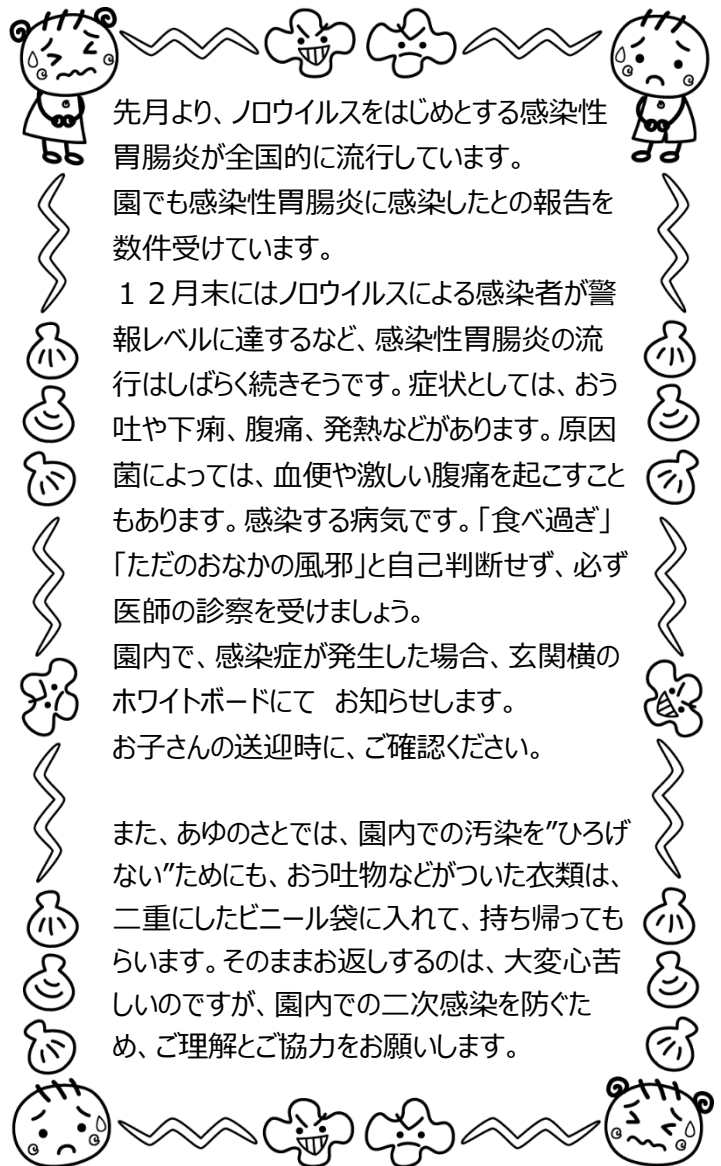
#### ④ 湿度・換気

部屋の中の湿度管理とこまめな換気を忘れずに。インフルエンザウイルスは乾燥した空気を好みます。感染性胃腸炎でおう吐した場合やインフルエンザにかかった人がくしゃみ等した場合には、空気中にウイルスがまき散らされるためこまめな換気が必要です。



### < 園での主な取り組み >

- ・各保育室に、加湿機能付き空気清浄器を設置
- ・玄関に、マスクや手指消毒剤を設置
- ・清掃時、保育室内を消毒しています
- ・乳児のオムツ交換時には、手袋を着用し、必要に応じて使い捨てエプロンを使用します
- ・職員はマスクの着用や正しい手洗いを心がけています



先月より、ノロウイルスをはじめとする感染性胃腸炎が全国的に流行しています。

園でも感染性胃腸炎に感染したとの報告を数件受けています。

12月末にはノロウイルスによる感染者が警報レベルに達するなど、感染性胃腸炎の流行はしばらく続きそうです。症状としては、おう吐や下痢、腹痛、発熱などがあります。原因菌によっては、血便や激しい腹痛を起こすこともあります。感染する病気です。「食べ過ぎ」「ただのおなかの風邪」と自己判断せず、必ず医師の診察を受けましょう。

園内で、感染症が発生した場合、玄関横のホワイトボードにてお知らせします。お子さんの送迎時に、ご確認ください。

また、あゆのさとでは、園内での汚染を“ひろげない”ためにも、おう吐物などがついた衣類は、二重にしたビニール袋に入れて、持ち帰ってもらいます。そのままお返しするのは、大変心苦しいのですが、園内での二次感染を防ぐため、ご理解とご協力をお願いします。

### ★ 衣類を家庭に持ち帰ったら・・・ ★

- \* 次亜塩素酸ナトリウム液を作る  
(ハイター原液 20ml + 水 1000ml)
- \* その液に衣類を2時間以上、浸け置きする
- \* 浸け置き後、ほかの衣類と分けて洗濯する
- 処理時には、マスクや手袋を着用し、処理後は、念入りに手を洗って下さい

